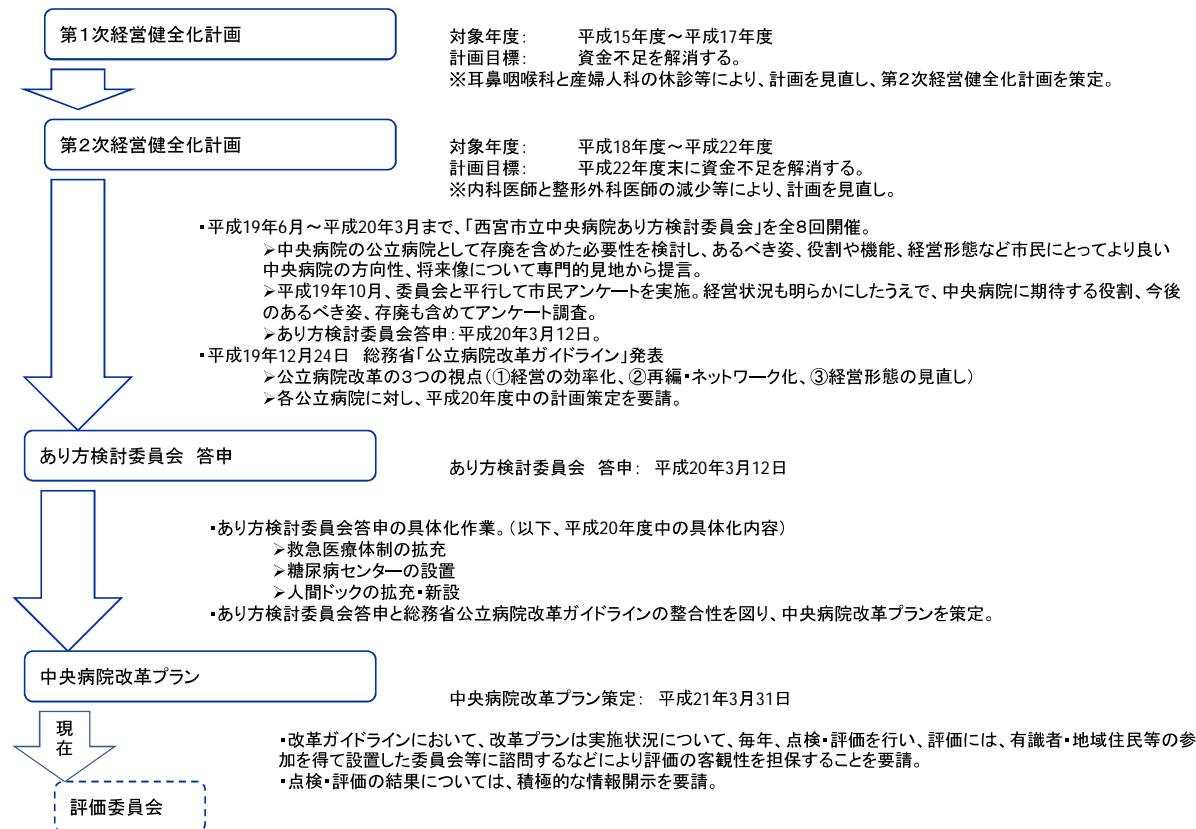
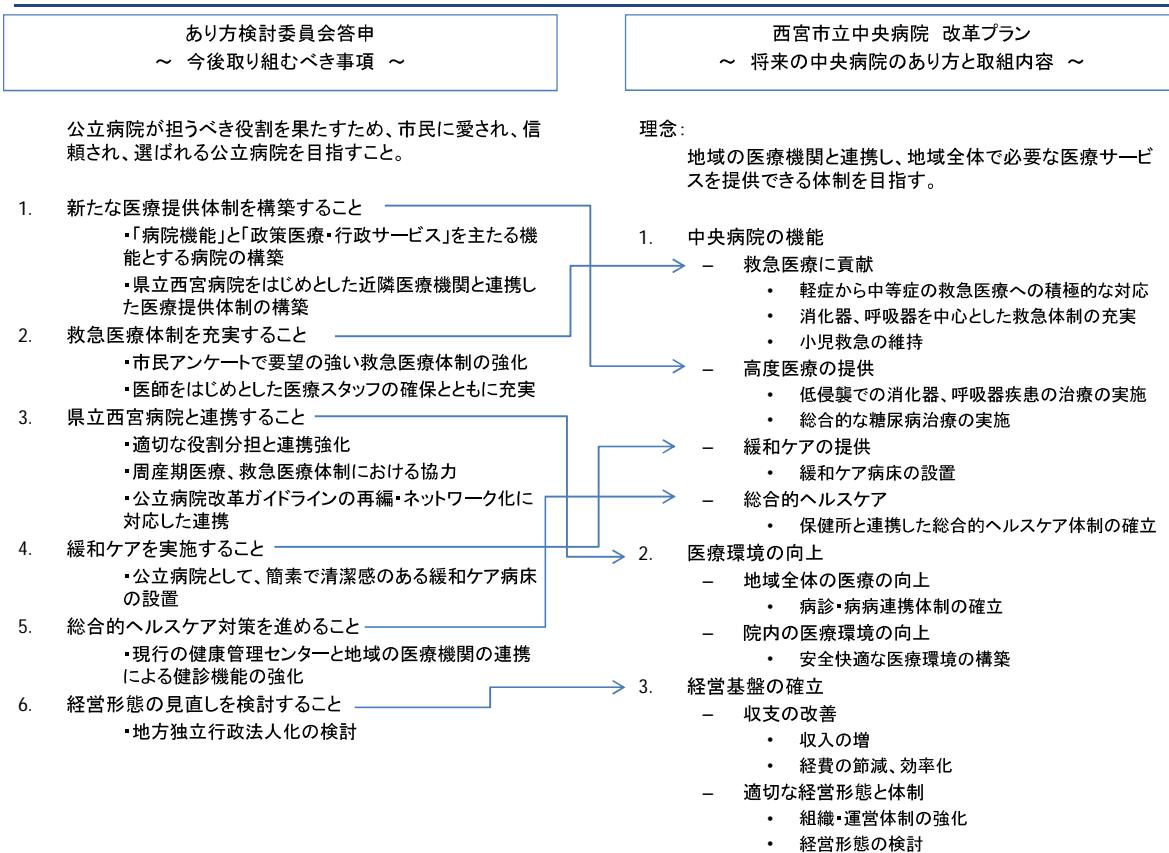


中央病院の経営改革の取り組み等について



あり方検討委員会答申と西宮市立中央病院改革プラン



取組内容について

(評価委員会に提示する評価、現状、達成度について)

	あるべき姿とその方向性	改革プランの目標と取組内容	改革プランの取組予定年度 21 22		(上段) 改革プランの目標に対する達成度 (下段) H21年度の取り組み
救急医療に貢献	救急医療体制の整備	【目標】 救急マニュアルの整備			【達成度】 100% マニュアルの改定が完了したため達成
		救急マニュアルの改定	●		・救急委員会にて全面改定済み。今後、随時改定の予定。
	< 1次救急 > 軽症から中等症の救急医療への積極的な対応	【目標】 外科1次救急の拡充			【達成度】 50% 医師の確保が未達成
		西宮市南部地区の輪番空白日フォローアップ	●		・月曜日・金曜日の夜間に輪番担当。それに加え、臨時に12月29日～1月3日の輪番空白日を担当（計8枠）。
		スタッフの確保と体制の整備	●		・今後、スタッフ（医師）を確保して、安定的な実施を目指す。
	< 2次救急 > 消化器、呼吸器を中心とした救急体制の充実	【目標】 消化器、呼吸器の2次救急の拡充			【達成度】 75% 日曜日・祝日等における2次救急拡充が課題
		2次救急対応の日数拡充	●		・内科・外科2次救急医療を月曜日～土曜日の週6日間実施。日曜日・祝日等は未実施であるため今後の課題。
		救急医療機関の認定	●		・H21年12月に、救急医療機関として認定され告示。
	小児救急の維持	【目標】 小児救急輪番制の維持			【達成度】 100% 現状の救急輪番体制を維持できた。
		月曜日・火曜日の小児救急輪番の体制を維持	●		・月曜日・火曜日の小児科2次救急輪番を引き続き、担当。
中央病院の機能	・低侵襲での消化器、呼吸器疾患の治療の実施 ・総合的な糖尿病治療の実施	【目標】 消化器、呼吸器、内視鏡、糖尿病センターの設置			【達成度】 100% 各項目について目標を達成
		専門医及び後期研修医の安定的確保	●		・H21年4月：消化器内科（専攻医）、H21.8月：麻酔科（専門医）を採用。
		マルチスライスCTの導入による検査の高度化・効率化	●		・H21年1月にCTの入れ替えにより、検査の高度化・効率化が図られ、検査件数も前年度件数より増加見込み。（下欄参照）
	提供体制の充実	【目標】 提供体制の充実			【達成度】 100% 各項目について目標を達成
		7:1看護体制の検討 (入院患者数の推移、診療報酬改定による影響を加味)	●		・7:1看護体制については、入院患者数の推移と看護師の採用状況を比較し、検討を実施。今後も、適宜検討を行う。
		院外処方化	●		・H22年4月から外来薬剤の院外処方化に向けて、移行準備。
		DPC制度の導入	●		・H21年7月からDPC制度の適用を開始。
		腹腔鏡手術の増加	●		・その他手術、検査についても、前年度件数より増加の見込み。（下欄参照）
		内視鏡検査・手術の増加	●		・各種の診療報酬加算についても取得済み。
		外来化学療法の稼働率向上	●		H21年1月～ 医療安全管理加算 H21年4月～ 糖尿病合併症管理料 H21年7月～ 医師事務作業補助体制加算 H22年1月～ 輸血管理料II
		各種加算の取得 (H22年度、診療報酬改定時に追加・更新の検討)	●		
緩和ケアの提供	緩和ケア病床の設置	【目標】 緩和ケア病床の整備等			【達成度】 100% 学会認定の取得、緩和病床の設置を達成
		既存病床の改修による病床整備	●		・H21年12月に、整備した緩和ケア病床について、学会が認定する研修施設の認定を受ける。
		緩和ケア学会認定取得	●		・H21年4月から、6階病棟の既存病床・2床を緩和ケア病床として改修整備し、運用開始。
総合的ヘルスケアへの対応	保健所と連携した総合的ヘルスケア体制の確立	【目標】 人間ドックの拡充			【達成度】 100% 各項目について目標を達成
		半日一般ドックを追加設定 (稼働率を考慮しながら、拡充・見直しの検討)	●		・H20年10月に、半日一般ドックコースを水曜日に8名分追加設定を行い、引き続き拡充実施。
		脳つき1日ドックの新設 (稼働率を考慮しながら、拡充・見直しの検討)	●		・H21年4月から、脳つき1日ドックコースを火曜日に4名分新規に設定。
		【目標】 総合的ヘルスケアの体制の検討			【達成度】 50% 総合的ヘルスケアの充実が今後の課題
		保健所と連携した公衆衛生活動を実施	●		・保健所と連携して、発熱外来を実施。 ・新型インフルエンザ患者が殺到した西宮市応急救療所を支援するため、内科1次救急を実施。 ・毎週水曜日に行っている特定検診を今後、拡充予定。
		総合的ヘルスケア体制構築			
		【目標】 地域医療連携の充実			【達成度】 50% 訪問件数の増加とデータベース構築が課題
医療環境の向上	地域（院内外環境）の医療向上	病診連携体制の確立	●		・H21年2月に、嘱託MSWを1名採用し、体制を強化。 ・地域医療連携の実施状況を登録するデータベースを構築し、診療所への訪問活動を記録。H21年7月から本格的に実施、H21年12月末現在で、開業医の訪問実績は、99件（全461件）。
		専門職員の投入	●		
		紹介件数増加の体制拡充 (データベース構築、診療所訪問件数やカバー率の拡充)	●		
	病病連携体制の確立	【目標】 県立西宮病院との連携の推進			【達成度】 25% 一定の課題の抽出はできたが、今後、抽出された課題の整理等が必要
		定期的な協議実施	●		・県立西宮病院と、市立芦屋病院を加えた3病院ネットワーク会議を開催。
		現状分析、課題把握から方向性の検討とその実行 (救急の役割分担や患者の紹介・逆紹介の協議)	●		・3病院間における現状把握、方向性の検討、課題の抽出を行う。今後は、課題の整理に取り組む。
	院内（院内医療環境）の向上	【目標】 施設の耐震改修			【達成度】 -%
		安全、快適な医療環境	●		・設計会社へ工法、工期、費用の調査を依頼し、報告書を受領。
		平成25年度末までに耐震改修工事に必要な体制を整備			

■は、改革プランにおける取組予定年度を示す。

●は実施したことを示す。

取組内容について

(評価委員会に提示する評価、現状、達成度について)

	あるべき姿とその方向性	改革プランの目標と取組内容	改革プランの取組予定年度		(上段) 改革プランの目標に対する達成度 (下段) H21年度の取り組み	
			21	22		
経営形態・体制の確立	組織・運営体制の強化	【目標】 情報管理の強化と一元化			【達成度】 50% 職員採用と管理体制構築を達成	
		医療情報管理部門の設置と運用	●		・嘱託システムエンジニア2名を採用し、電子カルテ・院内LAN等の管理業務に専従。今後は、情報の一元化が課題。	
		【目標】 経営管理体制の強化			【達成度】 100% 各項目について目標を達成	
		経営会議での月次損益管理体制の強化	●		・経営会議で使用される資料の視覚化を図る。	
		委員会における評価体制の構築と運用	●		・評価委員会を年1回開催し、改革プランの進捗状況の評価等を行う。(2月17日開催)	
		アンケート調査による患者ニーズの把握	●		・外来・入院患者を対象としたアンケートをH21年11月に実施、その結果をH22年1月に院内職員にフィードバック。	
		【目標】 人材の活用育成と配置整備			【達成度】 50% 評価制度以外の項目については達成	
		全職種対象の評価制度導入(試行と本格実施の検討)	●		・課長級以上の事務職員及び看護部にはラダーによる評価制度を導入。今後は、全職種・役職への拡大が課題。	
		接遇研修の実施 (効果をみながら、次年度以降の実施検討)	●		・外部講師を招聘した全職員を対象とした接遇研修をH21年10月に実施。今後もアンケート結果等を踏まえ、実施を検討。	
		人員配置体制の適正化	●		・予約センターの稼働と外来クラークの導入により、外来部門における看護師の配置数を見直し。	
		【目標】 地方独立行政法人化の検討			【達成度】 1%	
		制度の検討と移行準備 (人事・給与制度・財務・会計制度等の検討等)	●		地方独立行政法人化への移行に向け、短所・長所の把握、移行費用の試算等を実施。制度に関する勉強会を2回実施。	
		【目標】 広報の強化			【達成度】 100% 各項目について目標を達成	
		広報委員会の設置	●		・広報機能の強化を図るため、広報委員会をH21年9月に設置。	
		開業医向け勉強会の実施	●		・地域医療機関(開業医等)に当院の取り組みを広報するため、H21年10月に低侵襲手術治療セミナー、H21年12月に小児科セミナーを開催、H21年3月に糖尿病セミナー、診療報酬改定セミナーを実施予定。	
		病院紀要の刷新	●		・業績をまとめた年報の病院紀要を読みやすさを重視し、レイアウト等をリニューアルし、H21年11月発行。	
		ホームページの更新	●		・利用者が必要な情報を取得しやすいよう、ホームページをH21年12月にリニューアルを実施。	

■は、改革プランにおける取組予定年度を示す。

●は実施したことを示す。

(参考)

	H19年度	H20年度	H21年度 4月～12月	単位	改革プラン H21年度数値目標
紹介患者数					
内科	1,625	1,628	1,309	人	
外科	541	625	381	人	
小児科	564	569	464	人	
その他	3,987	3,803	3,097	人	
合計	6,717	6,625	5,251	人	
(月間平均紹介患者数)	559.8	552.1	583.4	人	595.4
救急搬送患者数					
内科	400	450	428	人	
外科	252	224	147	人	
小児科	289	250	198	人	
その他	133	136	123	人	
合計	1,074	1,060	896	人	
(月間平均救急搬送患者数)	89.5	88.3	99.6	人	99.6
内視鏡検査件数					
胃カメラ	2,470	2,587	1,875	件	
大腸ファイバー	805	946	863	件	
合計	3,275	3,533	2,738	件	
(月間平均件数)	272.9	294.4	304.2	件	299.4
腹腔鏡手術件数					
腹腔鏡手術件数	---	144	128	件	
(月間平均件数)	---	12.0	14.2	件	12.3

	H19年度	H20年度	H21年度 4月～12月	単位	改革プラン H21年度数値目標
外来化学療法室					
利用者数	---	1,080	918	人	
(月間平均患者数)	---	90.0	102.0	人	100.0
人間ドック					
1泊2日ドック	429	323	233	人	
半日ドック	759	902	718	人	
1日ドック	---	---	76	人	
合計	1,188	1,225	1,027	人	
(月間平均利用者数)	99.0	102.1	114.1	人	116.9
マルチスライスCT撮影件数					
撮影件数	4,738	4,909	4,035	件	
(月間平均件数)	394.8	409.1	448.3	件	434.1

改革プランと決算見込みとの比較

H21年度決算見込み値と計画の比較

(単位:百万円)

	改革 プラン (H21通期)	H21年度 決算見込み	増減
経常収益 A (a1+a2)	4,929	4,948	19
医業収益 (a1)	4,250	4,245	△ 5
入院収益	2,023	2,008	△ 15
外来収益	1,734	1,745	11
その他医業収益	493	491	△ 2
医業外収益 (a2)	679	703	24
経常費用 B (b1+b2)	5,647	5,716	69
医業費用 (b1)	5,490	5,569	79
職員給与費	2,830	2,831	1
材料費	1,328	1,365	37
経費	1,013	1,059	46
減価償却費	287	287	△ 0
その他医業費用	32	27	△ 5
医業外費用 (b2)	157	148	△ 9
経常損益 C (A-B)	△ 718	△ 769	△ 51
特別利益 (a3)	4	61	57
特別損失 (b3)	4	69	65
純損益 D C+(a3-b3)	△ 718	△ 777	△ 59

(単位:百万円)

	実績 (H21/4-12)
3,720	
3,213	
1,472	
1,333	
407	
507	
3,858	
3,848	
2,086	
1,004	
745	
0	
12	
10	
△ 138	
58	
56	
△ 136	

増減の主な要因

収益

•経常収益（医業収益+医業外収益）は、改革プランより+19百万円の見込み。

◇ 入院 △ 15百万円

決算見込みでは計画と比べ、患者数は1日平均△9.0人であるが、単価は+1,700円であるため。

◇ 外来 + 11百万円

決算見込みでは計画と比べ、患者数は1日平均△8.0人であるが、単価は+300円であるため。

◇ その他 △ 2百万円

公衆衛生活動収益は△10百万円の見込み。

◇ 医業外収益 + 24百万円

費用

•経常費用（医業費用+医業外費用）は、改革プランより+69百万円の見込み。

◇ 職員給与費 + 1百万円

◇ 材料費 + 37百万円

◇ 経費 + 46百万円

◇ 減価償却費 ± 0百万円

◇ その他 △ 5百万円

◇ 医業外費用 △ 9百万円

経常損益

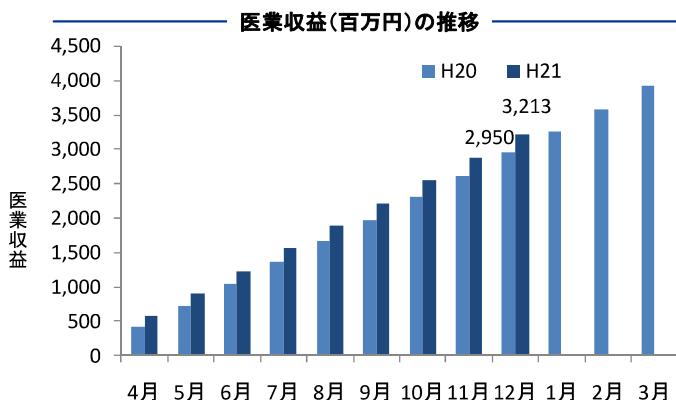
医業費用対医業収益比率	129%	131%	2%
職員給与費(対医業収益比率)	67%	67%	0%
材料費(〃)	31%	32%	1%
経費(〃)	24%	25%	1%
減価償却費(〃)	7%	7%	0%
その他医業費用(〃)	1%	1%	0%

1日入院患者数	164.0人	155.0人	△9.0人
入院単価	33,800円	35,500円	1,700円
病床利用率	85.0%	80.3%	-4.7%
1日外来患者数	523.0人	515.0人	△8.0人
外来単価	13,700円	14,000円	300円

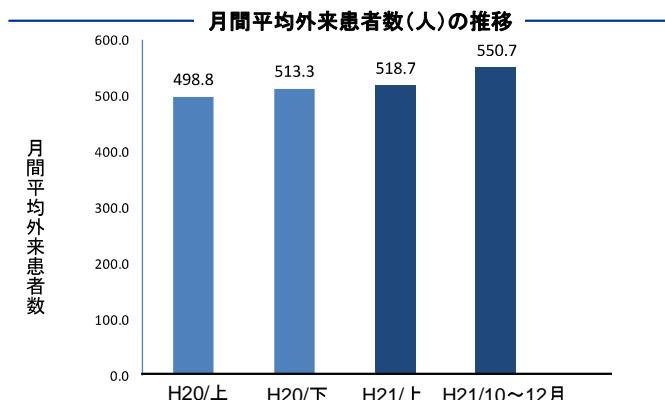
※小数点以下の端数処理状況により増減合計が一致しないことがある。

•経常損益は、改革プランより△51百万円の見込み。

医業収益と患者数の状況(H20、H21年度比較)

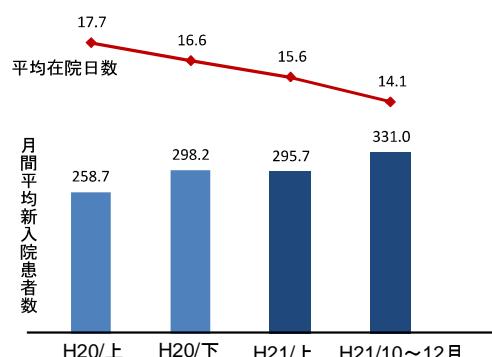


・入院・外来等の医業収益合計は、前年度を上回っている。

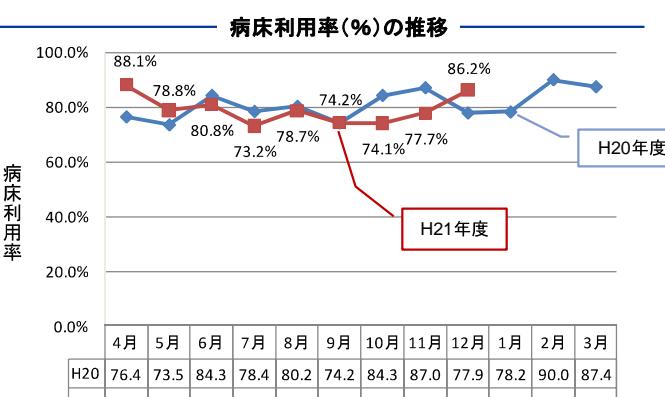


・H20年度上半期以降、外来患者数は増加している。

平均在院日数(日)と月間平均新入院患者数(人)の推移

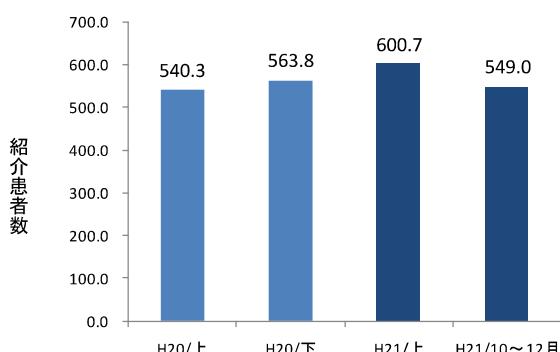


・平均在院日数は、短縮し続いているものの、月間平均新入院患者数は、前年度、今年度上半期を上回っている。



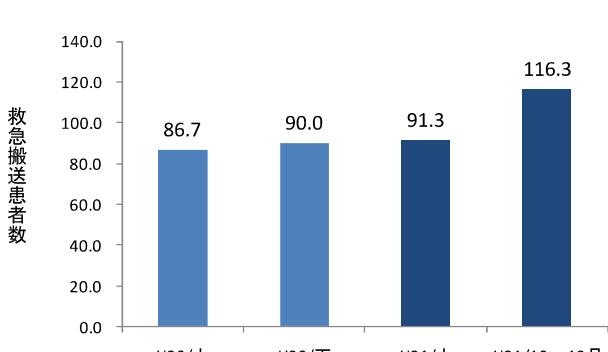
・DPC制度導入による平均在院日数短縮化の影響で、H21年7月以降は、昨年度をやや下回る月が続いた。

月間平均紹介患者数(人)の推移



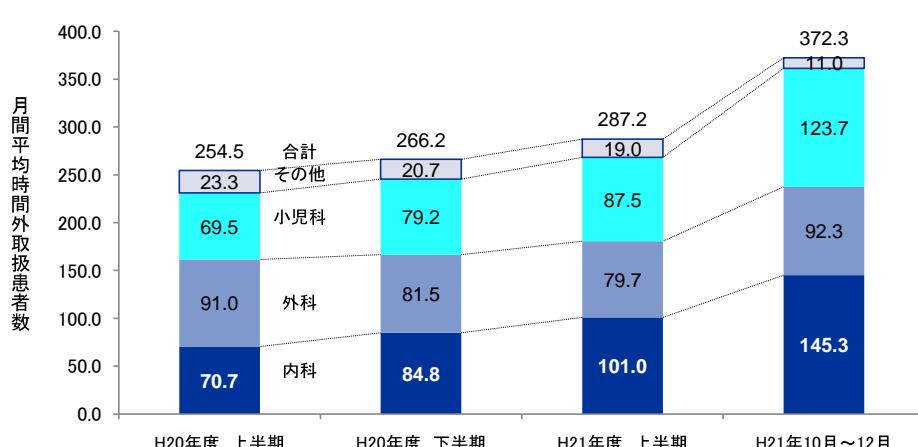
・H20年4月～12月：4,860人、H21年4月～12月：5,251人で、同時期比較では、+391件(43.4件/月)増加している。

月間平均救急搬送患者数(人)の推移



・H20年度上半期以降、救急搬送患者数は増加している。

月間時間外取扱患者数(人)の推移



・月間平均時間外取扱患者数は、平成20年度上半期から平成21年10月～12月まで増加している。

・なお、時間外取扱患者数については、救急搬送患者、紹介患者、独歩来院患者等の時間外に来院した患者が全て含まれる。